

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チーム ごちゃまぜきっず（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名（19世帯）	(回答者数)	15世帯
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、5年以上の実務経験のある保育士、児童指導員を配置しており様々な訓練を提供する事ができていると思います。	毎朝、ミーティングを行い前日の支援の状況等を共有するようにしています。観察所見などから、課題となる点を把握し、個々のお子様に応じた活動、課題の設定を日々検討しています。その内容については、職員間で共有し、個別支援計画に反映できるようにしています。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。
2	・広いグラウンドや訓練室でのびのびと活動する事ができます。 ・室内にスウィング（感覚統合遊具）を設置しています。	お子様のその日の体調や状況に合わせて、活動する場所や空間を考え、お一人お一人が安心して活動できるようにしています。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。
3	室内はバリアフリーになっており、安全に活動する事ができます。	個々に合わせた取り組みが出来るよう、個別的配慮や支援を行っています。	日々の活動やあそびの中に、自立に向けた活動を取り入れて楽しく学べるよう、工夫しながら療育を行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々と交流する機会を設ける事があまり出来ていません。	・平日は放課後のご利用の為、事業所内での活動がほとんどになります。そのため地域の方との交流を持つ機会ができていません。 ・コロナ禍では人と接触する機会を減らしていましたので、事業所外の人との関わりが少なくなっていました。	事業所は地域交流センターの中に設置していますので、交流センターをご利用される方と交流できる機会を持つようにしていきたいと思います。
2	保護者様同士が交流する機会を設ける事ができていません。	以前は保護者様にも参加していただけるイベントを開催していましたが、コロナ禍以降実施出来ていません。	・法人の家族会（宮友会）について、今後周知していきたいと思います。 ・事業所独自で保護者様同士が交流できる機会を持てるようなイベントを検討していきます。
3	非常時等の訓練の実施が保護者様に十分に認知されていません。	実施した様子を保護者様に十分に伝えできていませんでした。	実施した際に、おたより等で写真を付けて周知していきます。